

2019年11月19日

診療科長 医局長
病棟医長 外来医長
中央診療施設副部長
看護部長 看護師長
事務部長 殿

検査部 サテライト検査室
生化学検査部室

検査部回報 No.51

測定機器変更に伴う測定原理・基準範囲の変更について

測定機器変更に伴い、蛋白分画の検査項目におきまして測定原理・基準範囲が変更になります。また、検査の運用や報告について以下の点が変更になります。

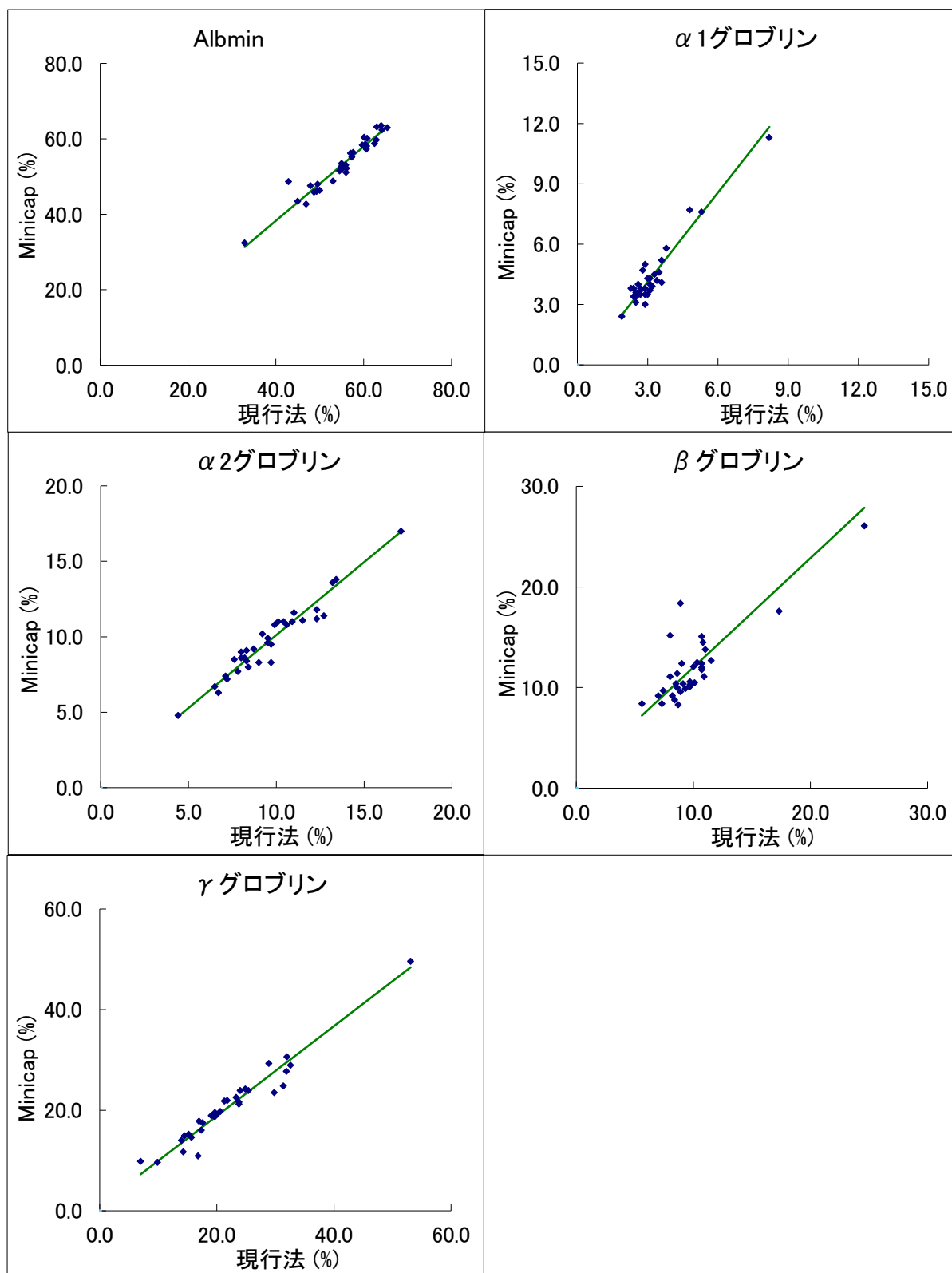
- ① 従来は検査報告までに2～3日を要していましたが、キャピラリー電気泳動法に変更したことにより、即日報告となります。ただし、時間外業務帯(平日16時以降、土日祝)に提出された検体については、翌営業日の報告となります。また、即日報告は血清検体のみとなります。
- ② 従来の β 分画が $\beta 1$ 分画と $\beta 2$ 分画に分かれて泳動されるため、従来の報告形式の【Alb、 $\alpha 1$ 、 $\alpha 2$ 、 β 、 γ 】から【Alb、 $\alpha 1$ 、 $\alpha 2$ 、 β ($\beta 1+\beta 2$ の合算値)、 $\beta 1$ 、 $\beta 2$ 、 γ 】へ変更になります。
- ③ $\alpha 1$ 分画が従来よりも1.3～1.5倍ほど高値に測定されることが予想されます。これは、従来のセルロースアセテートVSP膜電気泳動で染色されにくかった $\alpha 1$ -酸性糖蛋白が新しい方法では検出できるようになるためです。
- ④ 血清以外の検体(尿や髄液)については、下記変更日より外注検査へ移行予定です。

記

変更日：2019年12月2日(月) 受付分より

検査項目・測定原理・基準範囲：下表参照。

蛋白分画	現行法	新法
測定機器	AES 320 (ベックマン・コールター 株式会社)	Minicap Flex Piercing (フィンガルリンク 株式会社)
測定原理	セシカ VSP 膜 電気泳動法	キャピラリー 電気泳動法
基準範囲 (%)		
Albumin	61.7 - 71.7	55.8 - 66.1
α 1-globulin	1.7 - 2.6	2.9 - 4.9
α 2-globulin	5.7 - 8.9	7.1 - 11.8
β -globulin	6.6 - 10.2	7.9 - 13.7
β 1-globulin		4.7 - 7.2
β 2-globulin		3.2 - 6.5
γ -globulin	10.8 - 20.1	11.1 - 18.8
報告単位	%	%



現行法と新法の相関関係

問い合わせは、検査部 サテライト検査室（内線 7409）までお願いします。